

鉄道安全報告書

平成28年度版



平成29年8月
のと鉄道株式会社

1. 経営責任者からのメッセージ

弊社の鉄道事業に対しまして、日頃のご利用とご理解に厚く感謝申し上げます。平成28年度は、列車運行による鉄道運転事故、インシデント及び社員の取扱い誤りによる鉄道運転事故の発生はございませんでした。全社員一丸となって、事故防止意識を高め、運行の安全・安心を最優先に進めてまいりました。

特に、社員の取扱い誤りをなくすため、事故となる前の「きがかり事象」、「ヒヤリハット」等を、作業員間で共有し、お互いに話し合いのできる職場作りに取り組み事故の芽を摘んでまいりました。

設備面では車両、線路、踏切等の検査・保守を確実に実施し設備更新や構造物(トンネル、橋梁等)の長寿命化に力を入れてまいりました。

また、最近では気象変動による、ゲリラ豪雨をはじめ、強風による倒木等の自然災害が発生し、列車の運行に当たっては、都度、安全確認のため線路、構造物等の点検実施後、運行を再開してまいりました。お客様にはご不便をお掛けしますが、ご理解のほどお願い致します。

今後も、社員の技術・知識やメンタル面での教育・訓練を実施するとともに、管理・責任体制を明確にし、安全・安定輸送の強化を更に図っていく所存でございます。

この安全報告書は鉄道事業法に基づき、安全確保の取組みや安全の実態について公表するものです。この報告書に対する貴重なご意見を頂ければ幸いです。

2. 安全の基本方針と安全目標

(1) 安全の基本方針

安全・安心な輸送を最優先させるため、「安全行動規範」に定め、全社員に周知しています。

安全行動規範

- 1 一致協力して、輸送の安全確保に努めます。
- 2 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解すると共にこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- 3 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 4 職務の実施にあたり、推測によらず、確認の励行に務め、疑義のある場合は最も安全と思われる取扱いをします。
- 5 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全、適切な処置をとります。

(2) 安全目標

平成 28年度は前年度に引続き、下記の安全目標に取り組み、鉄道運転事故及び社員の取扱誤り「ゼロ」を目指して取り組んでまいりました。

区 分	項 目	内 容
数値目標	鉄道運転事故・輸送障害	社員の取扱誤りによる鉄道運転事故「ゼロ」
行動目標	トップによる現場巡視と対話	年 4 回実施
	ヒヤリハットの取り組み	報告文化を構築し継続実施

3. 平成 28年度 鉄道運転事故及び輸送障害等の発生状況

鉄道運転事故の発生はありませんが、気象状況がここ数年来変動してきており、災害による輸送障害が増加、短時間の集中豪雨や強風による倒木などで運転規制が発生、このため、これまで以上に、線路の点検及び巡回を徹底し、安全を確認した上で、運行を再開してきました。

全体の輸送障害は31件と昨年と比較して3件の増加となりました。

【事故・障害等の件数】

(1) 鉄道運転事故(列車衝突、列車火災、列車脱線、踏切障害事故等)
 0 件

(2) 輸送障害
 自然災害による障害(雨、風、降雪等) 8件
 設備故障による障害(信号、車両、踏切等) 8件
 第三者による障害(急病人、遮断機破損、踏切支障スイッチ等) 8件
 社員の取扱不良(伝達不良、体調不良、信号違反) 4件
 その他(動物等によるもの) 3件

(3) インシデント(事故に至らない事故の兆候)
 発生はありません。

(4) 行政指導等
 ありません。

※ 「運転を見合わせた時間の合計」 36時間24分
 「列車の運休本数」 34本

※ 【年度別運転事故等の発生状況推移】

年 度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
鉄道運転事故	0	0	0
輸送障害	23 (4)	28 (4)	31 (4)
インシデント	0	0	0

() は社員の取扱不良による障害件数を示します。

4. 安全重点施策の内容と進捗

(1) 設備の改修

設備の取替、改修等により安全性向上を計画的に進めてまいりました。

線路設備	レール更換、分岐器部分更換、枕木更換(橋マクラギ含む)、橋梁塗装、線路内支障木伐採
電気設備	踏切関係機器点検整備、全方向型踏切警報灯の交換(2箇所) 踏切支障報知装置及び特殊信号発光機の新設(17カ所)
車両	重要部検査 2 両、エンジン整備、車両部品整備(運転席モニター取替)、車輪削正 2 両、車両用冷房機器修繕

(2) 社員の教育訓練

輸送指令員、運転士、駅係員、車両・工務係員の教育訓練はそれぞれの職種に合わせて実施、訓練の内容は異常時の取扱、事故事例の研究、現車を使用しての訓練等により、技術・知識の習得を中心に行いました。

輸送指令員・駅係員	月1回、(1時間/1回)	異常時の取扱、規程等
運転士	隔月1回、(2時間/1回)	異常時の取扱、規程等 現車訓練
車両・工務係員	年6回、(3時間/1回)	異常時の取扱、機器の取扱、規程、作業方法等

上記のほか、全社員対象に年2回(2時間/1回)の事故防止研修を行いました

【踏切支障報知装置取扱訓練】



【異常時解放扱い訓練】



(3) JRとの合同訓練

七尾～和倉温泉間はJRとの共同列車運行区間であるため、JRとの合同訓練を毎年継続し実施しています。JR 七尾鉄道部和倉温泉駅、のと鉄道田鶴浜駅を使用し、輸送指令、隣接駅の取扱いがスムーズに行えるよう臨時列車を運行し、当務駅長、運転士の取扱いも含め行っています。

平成28年度は7月6日、駅間に列車が故障し前途運転不能となったことを想定した「伝令法施行による救援列車運転訓練」を行いました。



(4) JR 金沢支社脱線復旧訓練の参加

弊社では、大掛かりな訓練はできないので、他社等が行う訓練に参加し、対応方等について、事故発生の際の参考にしています。平成28年度はJR金沢支社総合車両所富山支所の脱線復旧訓練に参加しました。

JR 金沢支社総合事故対応訓練



(5) 雪害対策会議及び除雪体制

気象庁の降積雪予報、県沿線市町の除雪体制を参考に11月16日に雪害対策会議を開催、雪害に対する準備、除雪機械（ラッセル車）による線路除雪、駅構内等ホーム及びポイントの除雪には社員総出動体制とし、安全・安定輸送の確保に努めました。

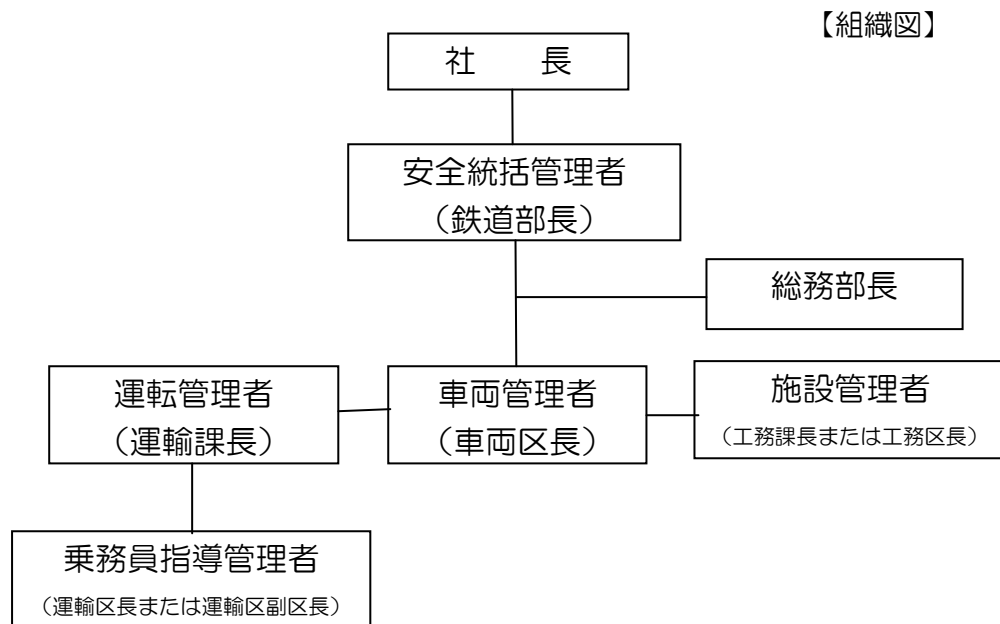
1月13日・14日は、大学センター試験が実施されることもあり、2日間MCラッセルを運転し運行の安全を確保しました。

一方、冬期踏切事故防止のため、24箇所の踏切道の除雪を業者に委託し、スリップ等による踏切内での発進不能、脱輪等による踏切事故の発生を防止してきました。

5. 安全管理体制と方法

5-1 安全管理体制

(1) 安全管理組織



(2) 安全管理者等の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (鉄道部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な財務に関する事項を統括する。
運転管理者 (運輸課長)	安全統括管理者の指揮下、列車の運行、運転士の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者 (運輸区長または運輸区副区長)	運転管理者の指揮下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 (工務課長または工務区長)	安全統括管理者の指揮下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 (車両区長)	安全統括管理者の指揮下、車両に関する事項を統括する。

5-2 安全管理方法

安全会議の開催

会社全体の事故防止会議で、社長、鉄道部長、総務部長、運輸課長、工務課長、運輸区長、運輸区副区長、工務副区長等が出席して月 1 回開催してきました。

内容は、前月一ヶ月間の事故・障害等の報告をうけ、再発防止策を検討するとともに、「ヒヤリハット」や注意事項について意見交換を行い、会議決定事項は関係社員への指示事項として発信、再発事故の防止を図り関連性のある「他山の石」についても同様に議論を行いました。

また、安全上の緊急的な設備の修繕について検討し、工事を実施をしました。

【主なヒヤリハット事象】

- ・ 車いすのお客様が駅員の介助なしで線路横断をしようとした。
- ・ 打合せと違う時刻で運転報を発信した。

この8年間、事故や障害に至らない些細な事柄も隠さず報告する社内の体質づくりを行ってきました。結果は良い方向に進みつつありますが、報告される件数は今年度も6件と少なく、更に報告し易い職場環境づくりに努力するとともに、報告は会社の財産であるという意識をもって邁進してまいります。

【安全の基本である5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の実施】

年度末の3月30日に、新年度を迎えるにあたり田鶴浜～和倉温泉間、国道249号線と並行している約2kmの沿線に自動車からの不法投棄された空き缶、ビン等の回収を行いました。（表紙写真）

6. 安全対策の実施費用

平成28年度の安全対策に伴う費用（主に設備保守費）は下記のとおりであります。

項 目	金 額
車両関係	66,791千円
施設関係	44,600千円
電気関係	1,615千円
合 計	113,006千円

7. 利用者・沿線住民の皆様にお願ひ

毎年春と秋の全国交通安全運動に合わせて、踏切通行のマナーについて通行量の多い大町踏切や児童が多く通行する木場踏切を中心に啓発活動を行っていますが、毎年数件「踏切支障」が発生しています。踏切横断の際は、一旦停止を必ず行い、遮断機及び警報機をしっかりと確認し通行をお願いします。

また、田畑への行き来、春の山菜取り、秋の苔取り等で線路内へ入る人を見受けます。鉄道敷地内への侵入により列車が緊急停止する事象も発生しており、非常に危険ですので、線路内歩行をしないようお願い致します。

【平成28年度踏切障害状況】

発生日	踏切名	状況
平成28年 9月16日	舟尾踏切	コンバインの直前横断
平成28年10月17日	馬場踏切	非常ボタンの操作(いたずらと思われる)
平成29年 2月24日	塩津踏切	遮断桿折損

※ 参考 平成28年10月31日 発生

七尾～和倉温泉間 大型ダンプカーの線路内転落（運休16本 遅延18本）



お問い合わせ

〒927-0026 石川県鳳珠郡穴水町字大町チ 24 番地 2

のと鉄道株式会社

TEL 0768-52-4422

Fax 0768-52-4455